

調査レポート

アジア経済概況(2013年5・6月)

【目次】

. 中華圏・韓国

- 1. 中国経済の概況・・・景気回復のペースは緩やか p.1
- 2. 中国の主要指標解説:期待される都市化政策による景気の押し上げ p.3
- 3. 台湾経済の概況・・・1-3月期のGDP成長率は前年比1.7%に減速 p.4
- 4. 韓国経済の概況・・・1-3月期のGDP成長率は前年比1.5%と横ばい p.5

. ASEAN・インド

- 1. タイ経済の概況・・・1-3月期のGDP成長率は前年比5.3%に減速 p.6
- 2. インドネシア経済の概況・・・1-3月期の成長率は前年比6.0%と横ばい p.7
- 3. マレーシア・フィリピン・シンガポールの主要経済指標 p.8
- 4. ベトナム経済の概況・・・緩やかながら持ち直しの兆しがみられる p.9
- 5. インド経済の概況・・・1-3月期の成長率は前年比4.8%と横ばい p.10

- . アジア通貨・株価動向 p.11

三菱UFJリサーチ & コンサルティング株式会社

調査部 野田 麻里子 (chosa-report@murc.jp)

〒105-8501 東京都港区虎ノ門5-11-2

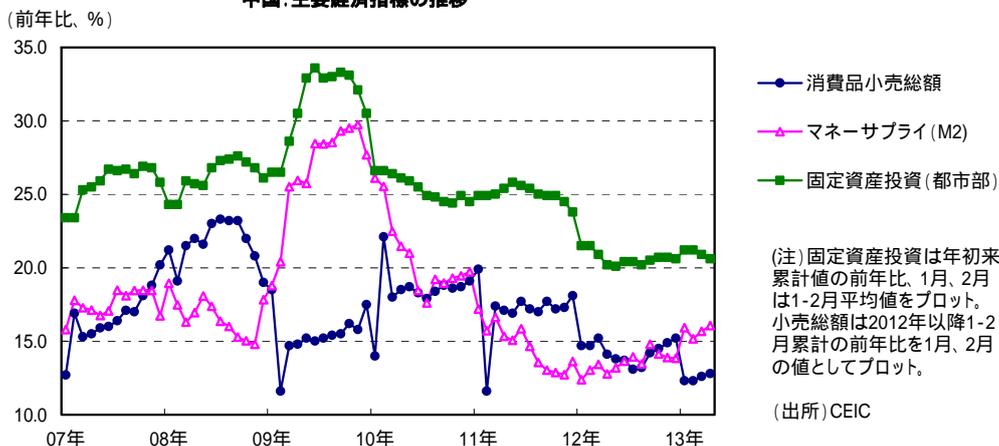
TEL:03-6733-1070

・ 中華圏・韓国

1. 中国経済の概況

- ・ 景気回復は緩やかなペースにとどまっている。
- ・ 中国物流購買連合（CFLP）発表の5月の製造業PMI（購買担当者指数）は50.8ポイントと前月（50.6）から0.2ポイント上昇し、昨年10月以降8ヶ月続けて景気の拡大と縮小の分岐点となる50ポイントを上回った。PMIの構成指数である新規受注と生産もそれぞれ0.1ポイントと0.7ポイント上昇したほか、参考指標である新規輸出受注指数も0.8ポイント改善した。一方、CFLPの調査に比べて、中小企業のウェイトが高いといわれるHSBCの5月の製造業PMIは49.2ポイントと前月（50.4）から1.2ポイント低下し、50の分岐点を下回った。緩やかな景気回復は続いているものの、大手製造業が政府のインフラ投資などの恩恵を受ける一方、中小企業は低迷する海外景気の影響をより強く受けているとみられている。
- ・ 4月の小売売上は前年比12.8%増と1-3月期の同12.4%増から持ち直したものの、10-12月期同14.5%増に比べると依然として低い伸び率にとどまっている。また、固定資産投資は前年比2割増のペースは維持しているものの、1-3月期同20.9%増から1-4月同20.6%増と増加テンポは鈍っている。鉱工業生産も1-3月期同9.5%増から1-4月期同9.4%増と伸び率がやや鈍化している。
- ・ こうした中で堅調な輸出（4月前年比14.7%増）と高いマネーサプライの伸び（M2：4月同16.1%増）が景気を下支えしているとみられる。
- ・ 4月の消費者物価上昇率は前年比2.4%と前月（同2.1%）よりやや加速した。これは食品価格（同4.0%）、なかでも悪天候により生鮮野菜の価格（同5.9%）が上昇したためだが、引き続き今年目標水準（前年比3.5%前後）は下回っている。
- ・ 一方、4月の生産者物価は前年比2.6%と前月（同1.9%）からマイナス幅が拡大した。川上部門の在庫調整圧力が依然として大きいとみられる。

中国:主要経済指標の推移



【中国・香港の主要経済指標】

			2010年	2011年	2012年	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/4Q	13/1Q	13/3月	13/4月	13/5月	
中国	GDP	実質GDP成長率	前期比%				1.6	1.9	2.1	2.0	1.6			
			前年比%				8.1	7.6	7.4	7.9	7.7			
		(累計ベース)	前年比%	10.4	9.3	7.8	8.1	7.8	7.7	7.8	7.7			
		名目GDP成長率(累計ベース)	前年比%	17.8	17.8	9.8	11.3	10.4	9.7	9.8	9.6			
	消費	社会消費品小売総額	前年比%	18.4	17.1	14.2	14.9	14.0	13.8	14.5	12.4	12.6	12.8	
		うち市(都市部)	前年比%	18.8	17.2	14.2	14.6	14.1	13.9	14.5	12.2	12.2	12.6	
		うち県(農村部)	前年比%	16.2	16.6	14.5	16.9	13.3	13.4	14.6	14.0	15.0	13.8	
		自動車販売台数	前年比%	32.4	2.5	4.3	3.9	10.0	4.4	6.9	13.1	10.7	13.4	
		うち乗用車(セグ、SUV他)	前年比%	33.2	5.2	7.1	1.8	16.6	6.7	7.4	17.2	13.3	13.0	
		消費者自信指数	期中平均	105.5	103.3	102.4	103.0	102.1	99.5	105.0	105.1	102.6	103.7	
		消費者期待指数	期中平均	105.8	106.6	106.9	108.9	106.9	103.1	108.8	110.4	107.9	108.1	
		投資	固定資産投資(都市部・500万元以上;年初末累計)	前年比%	24.5	23.8	20.6	20.9	20.4	20.5	20.6	20.9	20.9	20.6
	うち不動産・居住用建物		前年比%	33.5	29.7	22.1	27.0	22.1	21.1	22.1	24.1	24.1	24.4	
	うち国内企業		前年比%	25.6	24.7	21.2	21.4	21.0	21.2	21.2	21.7	21.7	21.4	
	うち製造業		前年比%	27.0	31.8	22.0	24.8	24.5	23.5	22.0	18.7	18.7	18.4	
うち鉄鋼	前年比%		6.1	14.6	2.0	8.0	9.4	3.9	2.0	7.7	7.7	7.2		
うち輸送機械(自動車)	前年比%		31.7	27.2	32.8	38.6	36.0	34.5	32.8	15.3	15.3	15.5		
うち電気機械	前年比%		40.4	44.6	4.8	11.2	8.3	7.0	4.8	5.5	5.5	3.3		
うち情報通信機器	前年比%		48.2	34.2	12.9	12.4	12.6	14.8	12.9	19.7	19.7	20.2		
直接投資契約件数(累計ベース)	前年比%		16.9	1.1	10.1	9.4	13.1	11.7	10.1	10.4	10.4	4.7		
直接投資実行額(累計ベース)	前年比%		12.4	9.7	3.7	2.8	3.0	3.8	3.7	1.4	1.4	1.2		
不動産景気指数	期中平均		104.3	101.6	95.6	97.4	95.1	94.5	95.3	97.7	97.6	97.4		
貿易及び外貨準備	貿易収支		10億ドル	181.5	154.9	231.1	0.2	68.4	79.2	82.5	42.8	0.9	18.2	
	輸出(ドルベース)	前年比%	31.3	20.3	7.9	7.6	10.4	4.4	9.4	18.4	10.0	14.7		
	輸入(ドルベース)	前年比%	38.8	24.9	4.3	6.9	6.4	1.4	2.9	8.5	14.1	16.8		
	対米貿易収支	10億ドル	181.2	202.3	218.9	42.4	57.2	61.4	58.1	41.0	11.1	14.7		
	対日貿易収支	10億ドル	55.7	46.3	26.2	6.9	7.8	9.0	2.4	1.0	1.5	1.9		
	外貨準備	期末10億ドル	2847.3	3181.1	3311.6	3305.0	3240.0	3285.1	3311.6	3442.6	3442.6			
生産	鉱工業付加価値額(累計ベース)	前年比%	15.7	13.9	10.0	11.6	10.5	10.0	10.0	9.5	9.5	9.4		
	うち国有企業	前年比%	13.7	9.9	6.4	7.2	7.0	6.3	6.4	5.2	5.2	4.9		
	うち株式会社	前年比%	16.8	15.8	11.8	13.8	12.4	11.8	11.8	11.3	11.3	11.1		
	うち外商・港台企業	前年比%	14.5	10.4	6.3	6.4	6.3	6.0	6.3	6.9	6.9	7.1		
	発電量	前年比%	14.0	10.9	4.2	6.5	1.2	2.1	7.4	4.2	2.1	7.4		
	製造業購買担当者指数(PMI)	%	53.8	51.4	50.8	51.5	51.3	49.7	50.5	50.5	50.9	50.6	50.8	
	うち新規受注	%	55.8	51.9	50.9	52.2	51.2	49.2	50.9	51.3	52.3	51.7	51.8	
	うち雇用	%	51.8	50.2	49.4	49.2	50.4	49.2	49.0	48.4	49.8	49.0	48.8	
新規輸出受注	%	52.8	50.0	49.3	50.0	50.0	47.3	49.8	48.9	50.9	48.6	49.4		
所得雇用	都市一人当り所得(累計ベース)	前年比%	11.5	14.0	12.4	14.1	13.3	12.9	12.4	8.6				
	労働力市場求人倍率	期末	1.01	1.04	1.08	1.08	1.05	1.05	1.08	1.10				
	第二次産業/全産業求人比率	期末%	34.5	40.4	40.8	43.5	41.7	38.9	40.8	43.4				
物価	消費者物価指数	前年比%	3.3	5.4	2.7	3.8	2.9	1.9	2.1	2.4	2.1	2.4		
	うち食品	前年比%	7.2	11.8	4.9	8.1	5.7	2.8	3.0	3.9	2.7	4.0		
	うち家庭設備・家庭用品	前年比%	0.0	2.4	1.9	2.4	2.0	1.8	1.6	1.6	1.6	1.6		
	生産者物価指数	前年比%	5.5	6.1	1.7	0.1	1.4	3.3	2.3	1.7	1.9	2.6		
金融	マネーサプライ(M2)	前年比%	19.7	13.6	13.8	13.4	13.6	14.8	13.8	15.7	15.7	16.1		
	インターバンク金利(翌日物)	期中平均%	1.67	3.14	2.80	3.30	2.65	2.73	2.50	2.34	2.31	2.38	2.80	
	株価指数(上海総合)	期末	2,808	2,199	2,269	2,263	2,225	2,086	2,269	2,237	2,237	2,178	2,301	
	為替レート(元/ドル)	期中平均	6.77	6.46	6.31	6.31	6.31	6.33	6.30	6.28	6.27	6.25	6.20	
	為替レート(円/元)	期中平均	12.9	12.3	12.6	12.5	12.7	12.4	12.9	14.7	15.1	15.7	16.3	
香港	GDP	実質GDP成長率	前年比%	6.8	4.9	1.5	0.8	1.0	1.4	2.5				
		うち民間消費	前年比%	6.3	9.0	3.2	6.3	2.8	2.8	4.1				
		うち固定資本形成	前年比%	7.7	10.2	9.4	12.5	5.7	8.3	10.5				
		名目GDP成長率	前年比%	7.1	9.0	5.5	4.6	3.9	5.8	7.3	4.1			
	消費	小売販売数量指数	前年比%	15.6	18.5	7.1	11.0	7.1	4.2	6.4	14.0	9.7	19.7	
	貿易	貿易収支	10港HKTドル	335	426	478	99	123	121	135	111	49	43	
		輸出(香港ドルベース)	前年比%	22.7	10.2	2.9	1.5	1.8	3.8	7.0	3.9	11.2	9.0	
		輸入(香港ドルベース)	前年比%	25.0	11.9	3.9	0.7	2.1	4.5	8.1	4.9	11.3	7.7	
	物価	消費者物価指数	前年比%	2.3	5.3	4.1	5.2	4.2	3.1	3.8	3.7	3.6	4.1	
	金融	マネーサプライ(M3)	期末%	5.3	12.8	10.3	13.2	8.7	9.0	10.6	10.6	9.6	10.3	
ハンセン指数		期末ポイント	23,035	18,434	22,657	20,556	19,441	20,840	22,657	22,300	22,300	22,737	22,392	

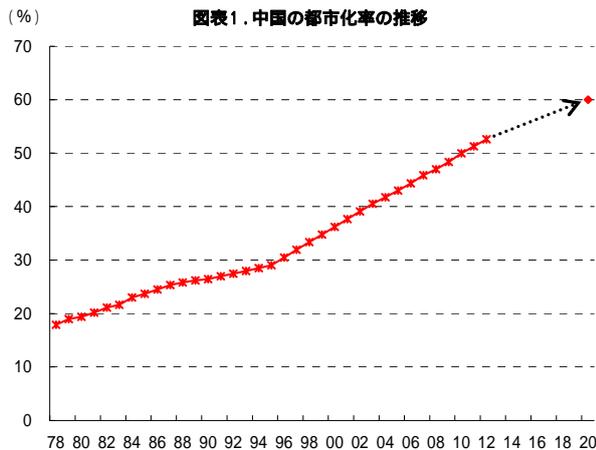
(出所) CEIC (注) 小売総額の内訳は2010年以降、上段(都市部)、下段(農村部)。固定資産投資統計の基準は2011年以降500万円から500万円に変更。

2. 中国の主要指標解説：期待される都市化政策による景気の押し上げ

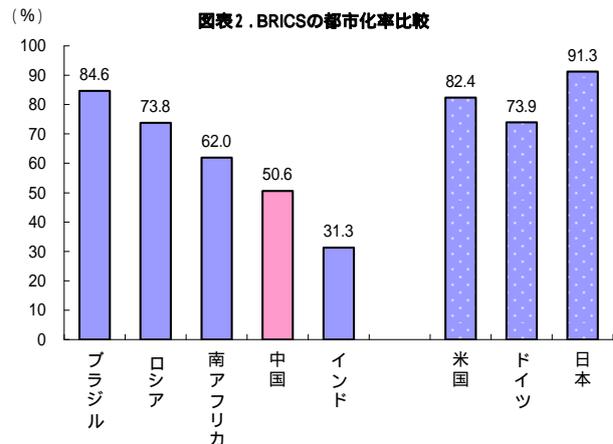
6月3日に発表されたHSBC集計の5月の中国製造業購買担当者景況指数（PMI）は49.2と景気の拡大と縮小の分かれ目となる50を下回った。中国の景気回復の足取りが依然として緩やかなものにとどまっていることが改めて確認される中で、新指導部が最優先課題のひとつとして掲げる都市化政策が景気押し上げにつながるとして期待されている。

中国の都市化比率（総人口に占める都市人口の割合）は78年の改革開放当初の17.9%から2012年には52.6%まで上昇している（図表1）。しかし、先進国はもとより、インド以外のBRICS諸国と比べても都市化率の水準は低く（図表2）、中国政府は2020年までにこれを60%に引き上げることを目標としている。

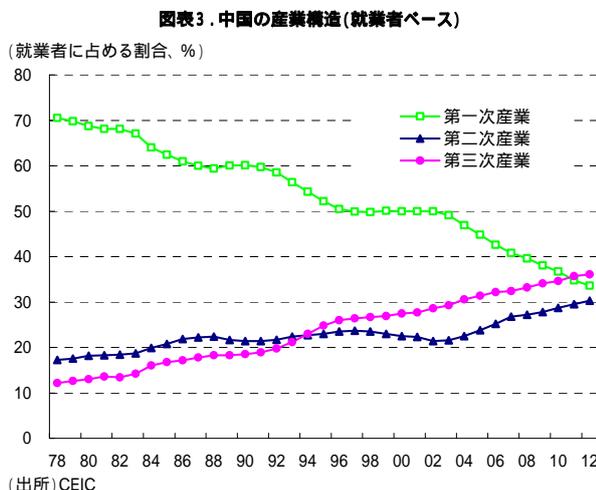
都市化には 農民の都市への移住、農村の都市化、の2つの経路があるがいずれの場合も都市のインフラ整備など投資の拡大をもたらすとみられる。加えて都市化に伴って経済のサービス化が促進されることで、安定成長につながる内需主導型の経済構造への転換も進むことが期待されている（図表3、4）。



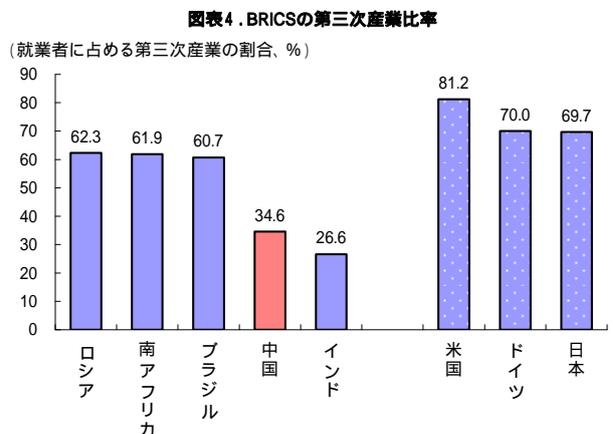
(出所)CEIC (注)都市化率 = 都市人口 ÷ 総人口 (%)



(出所)国連「World Urbanization Prospects: The 2011 Revision」



(出所)CEIC

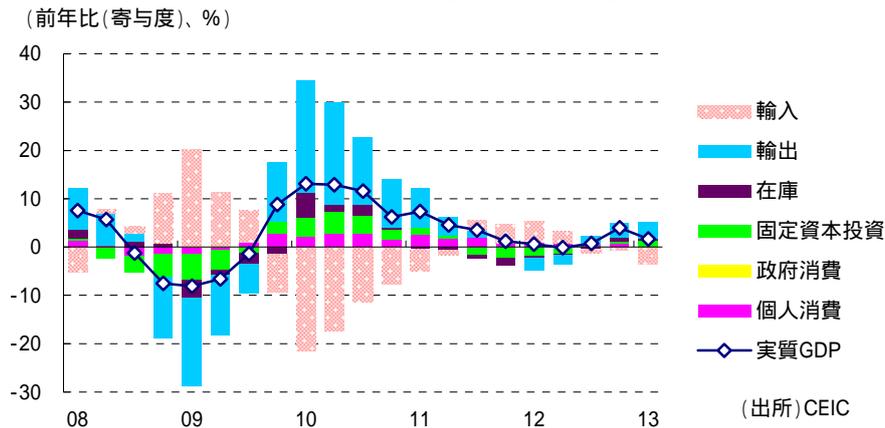


(注)ブラジル、ロシアは2009年、それ以外は2010年。
(出所)世界銀行「World Development Indicators」

3. 台湾経済の概況

- ・ 景気は持ち直し基調にあるが、そのテンポは緩慢なものにとどまっている。
- ・ 1-3月期の実質 GDP 成長率は前年比 1.7%と 10-12月期(同 4.0%)から減速した。消費が前年比 0.3%増と前期(同 1.5%増)から鈍化し、輸出も同 4.8%増と伸び悩んだ。投資が同 7.4%増加し、景気を下支えしたものの、投資の増加に伴い機械類を中心に輸入が拡大(同 6.6%増)し、景気押し上げ効果は一部相殺された。
- ・ 4月の景気対策指標は 17 と「停滞注意」の「黄青」信号の下限(22~17)水準まで低下した。「黄青」信号の点灯は昨年 9 月以降 8 ヶ月連続となり、景気回復ペースが緩慢にとどまっていることが示唆されている。
- ・ こうした状況を受けて行政院は 2013 年の成長率見通しを 2 月時点の 3.59%から 2.40%に 1.19%ポイント下方改定する一方、自動車買い替え補助金や家庭用器具の購入補助金などの消費刺激策や輸出テコ入れ策を打ち出している。

台湾: 実質GDP成長率需要項目別寄与度の推移



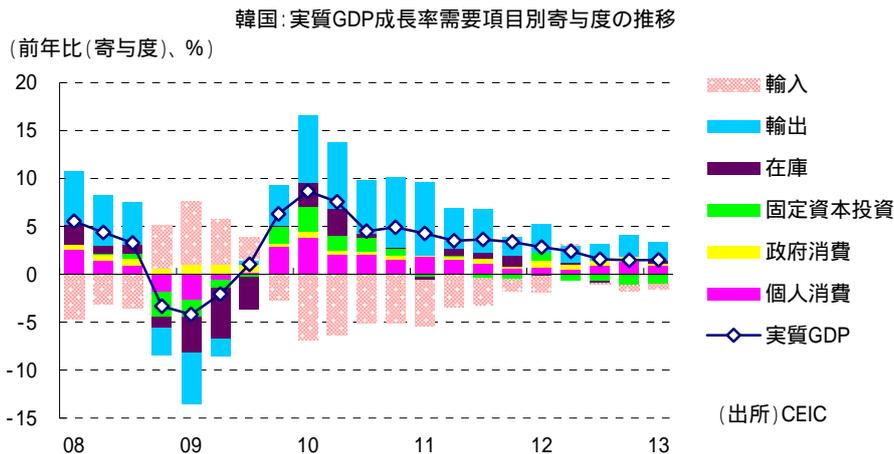
【台湾の主要経済指標】

		2010年	2011年	2012年	12/10	12/20	12/3Q	12/4Q	13/1Q	13/3月	13/4月	13/5月
GDP (yoy)	実質 GDP (前期比)				1.4	0.0	0.7	1.7	0.7			
	実質 GDP (前年比)	10.8	4.1	1.3	0.6	0.1	0.7	4.0	1.7			
	うち民間消費	4.0	3.1	1.5	1.9	1.6	0.9	1.5	0.3			
	うち総固定資本形成 (うち民間企業)	21.1	3.1	4.2	10.2	7.7	0.9	2.1	7.4			
生産	鉱工業生産(yoy)	24.2	4.4	0.2	4.5	1.6	1.3	4.0	1.1	3.0	0.9	
消費	卸小売販売指数(yoy)	5.3	0.9	0.2	2.8	0.1	0.9	3.0	1.9	0.8	3.4	
貿易 及び 対外 関連	貿易収支(10億ドル)	23.4	26.8	30.7	5.8	5.7	8.5	10.8	4.6	3.2	2.3	
	輸出(yoy)	34.8	12.3	2.3	3.9	5.4	2.2	2.4	2.4	3.3	1.9	
	輸出受注(yoy)	26.1	7.2	1.1	1.5	3.1	1.4	7.6	1.7	6.6	1.1	
	輸入(yoy)	44.1	12.0	3.9	5.9	5.9	3.4	0.1	4.4	0.2	8.2	
	経常収支(10億ドル)	39.9	41.2	49.9	11.1	10.9	12.0	15.9	11.1			
	外貨準備高(10億ドル)	382	386	403	394	391	398	403	402	402	405	
雇用	失業率(季調値)	5.2	4.4	4.2	4.2	4.2	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2	
物価	消費者物価(yoy)	1.0	1.4	1.9	1.3	1.6	2.9	1.8	1.8	1.4	1.0	
金融	M2(yoy)	5.4	4.8	3.5	5.1	4.2	3.7	3.5	3.9	3.9	4.1	
	株価指数(加権指数)	8,973	7,072	7,700	7,933	7,296	7,715	7,700	7,919	7,919	8,094	8,255
	短期金利(オーバーナイト)	0.18	0.34	0.42	0.40	0.50	0.41	0.39	0.39	0.39	0.39	
	為替レート(NTドル/ドル)	31.6	29.5	29.6	29.7	29.7	29.9	29.2	29.5	29.8	29.9	29.9
	為替レート(円/NTドル)	2.77	2.70	2.69	2.67	2.70	2.63	2.78	3.12	3.18	3.27	3.39

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、貿易統計は再輸出と再輸入を加算した新ベース。

4. 韓国経済の概況

- ・ 景気は持ち直し基調にあるが、そのテンポは緩やかなものとどまっている。
- ・ 1-3月期の実質 GDP 成長率は前年比 1.5%と前期と同水準にとどまった。消費（前年比 1.6%増）と輸出（同 3.6%増）は底堅く推移したものの、投資（同 4.5%減）は4四半期連続して前年比マイナスであった。季調済み前期比年率では 3.5%と 2011年 1-3月期（同 5.3%）以来 2年ぶりの高成長だったが、これは前期（10-12月期）の水準が低かったため、その分成長率が高めにしている可能性が指摘されている。
- ・ こうした中で 5月 7日に 5.3兆ウォンの景気刺激策を含む総額 17.3兆ウォンの補正予算が成立した。また、韓国中銀は 5月 9日に昨年 10月以来 7ヶ月ぶりとなる政策金利の引下げ（2.75% → 2.50%）を決めた。「輸出の先行きに不透明感があり、内需が一進一退を続けるなど景気の回復力は弱い」（中銀）との認識のもと財政・金融両面からの景気テコ入れが始まった。



【韓国の主要経済指標】

		2010年	2011年	2012年	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/4Q	13/1Q	13/3月	13/4月	13/5月
GDP (yoy)	実質 GDP (前期比)				0.8	0.3	0.0	0.3	0.9			
	(前年比)	6.3	3.7	2.0	2.8	2.4	1.6	1.5	1.5			
	うち民間消費支出	4.4	2.4	1.7	1.3	1.0	1.7	2.7	1.6			
	うち固定資本形成	5.8	1.0	1.7	3.7	2.6	2.5	4.2	4.5			
	うち設備	25.7	3.6	1.9	8.8	3.5	6.9	5.2	11.5			
生産	鉱工業生産(yoy)	16.3	5.9	0.9	3.6	1.1	1.0	0.1	1.7	2.9	1.7	
消費	小売売上高(数量,yoy)	6.8	4.5	2.3	2.7	1.4	2.6	2.5	0.2	1.7	2.2	
貿易 及び 対外 関連	貿易収支(10億ドル)	41.2	30.8	28.3	1.2	9.7	7.5	9.9	5.7	3.2	2.4	6.0
	輸出(yoy)	28.3	19.0	1.3	2.9	1.7	5.8	0.4	0.4	0.1	0.4	3.2
	輸入(yoy)	31.6	23.3	0.9	7.8	2.9	6.9	1.1	2.9	2.1	0.3	4.8
	経常収支(10億ドル)	29.4	26.1	43.1	2.6	11.2	14.6	14.8	10.0	4.9	4.0	
	外貨準備高(10億ドル)	292	306	327	316	312	322	327	327	327	329	
雇用	失業率(季調値)	3.7	3.4	3.2	3.4	3.3	3.1	3.0	3.3	3.2	3.1	
物価	消費者物価(yoy)	2.9	4.0	2.2	3.0	2.4	1.6	1.7	1.4	1.3	1.2	1.0
金融	マネーサプライ(New M2,yoy)	6.0	5.5	4.8	6.4	6.5	5.6	4.8	4.8	4.8	5.3	
	株価指数(総合)	2,051	1,826	1,997	2,014	1,854	1,996	1,997	2,005	2,005	1,964	2,001
	C/Dレート(3ヵ月物)	2.67	3.44	3.30	3.54	3.54	3.22	2.89	2.83	2.81	2.80	2.72
	為替レート(ウォン/ドル)	1,156	1,108	1,127	1,132	1,152	1,133	1,090	1,085	1,102	1,122	1,111
	為替レート(円/100ウォン)	7.5	7.2	7.1	7.1	6.9	6.9	7.6	8.5	8.5	8.8	9.0

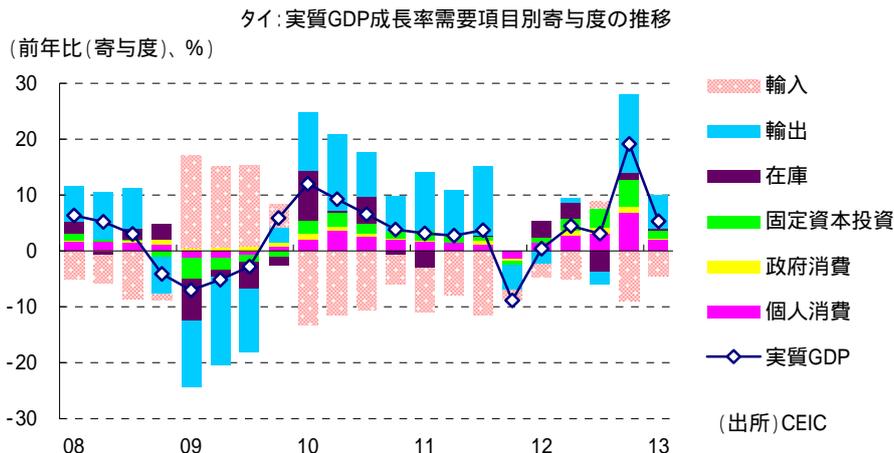
(出所)CEIC

(注) yoy = 前年比 (%)

ASEAN・インド

1. タイ経済の概況

- ・ 景気の拡大が一服している。
- ・ 1-3月期の実質GDP成長率は前年比ベースで5.3%、季調済み前期比ベースでは2.2%と前期から大幅に減速した。投資、消費を中心に2012年を通じて続いてきた洪水被害からの持ち直し需要が一服した上に、自動車購入支援策が昨年末で終了したことが背景にあるとみられている。タイ国家経済社会開発庁は今年の成長率見通しを2月時点の4.5~5.5%から4.2~5.2%に下方修正した。
- ・ 昨年12月に前年比3.6%まで加速した消費者物価上昇率は5月には同2.3%に低下した。また食品を除くコア消費者物価の上昇率は足元、前年比0.9%と中銀の目標レンジ(0.5~3.0%)の中央値(1.75%)を下回って推移している。
- ・ こうした中でタイ中央銀行は5月29日の金融政策会合で「景気の下振れリスクが高まっている」として政策金利の引下げ(2.75%→2.50%)を決めた。



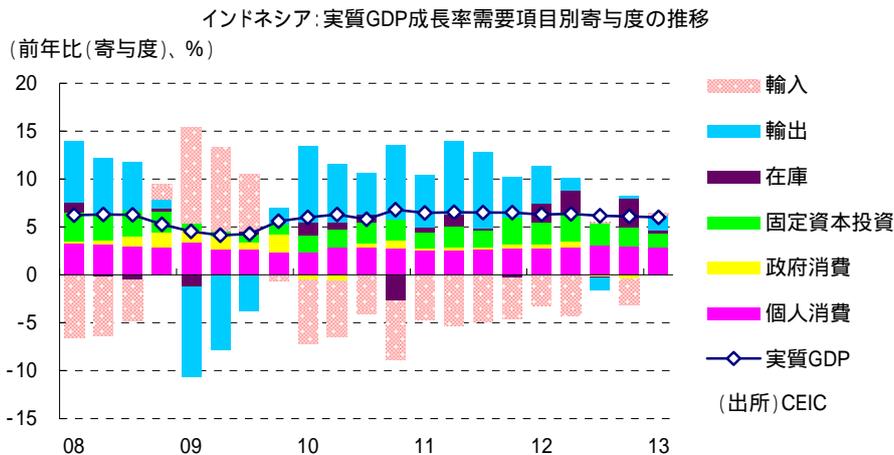
【タイの主要経済指標】

		2010年	2011年	2012年	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/4Q	13/1Q	13/3月	13/4月	13/5月
GDP (yoy)	実質GDP	7.8	0.1	6.5	0.4	4.4	3.1	19.1	5.3			
	民間消費	5.1	1.3	6.8	2.4	5.6	6.8	12.4	3.9			
	総固定資本形成	9.4	3.3	13.2	5.2	10.2	15.5	22.9	6.0			
生産	製造業生産指数(yoy)	14.3	9.0	2.5	6.8	1.6	11.0	44.0	3.2	1.2	3.8	
消費	個人消費指数(yoy)	5.5	3.7	5.6	3.5	4.8	6.8	7.4	3.9	1.8	1.7	
投資	民間企業投資指数(yoy)	20.0	8.8	15.3	6.0	16.2	15.4	24.2	10.7	3.1	1.1	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	10.4	6.2	18.1	5.2	5.0	1.6	6.3	7.9	0.9	4.1	
	輸出(yoy)	26.8	15.1	3.1	1.4	2.0	3.8	18.5	4.3	4.5	2.9	
	輸入(yoy)	36.8	25.1	8.2	10.4	9.2	1.7	16.4	8.4	11.5	8.9	
国際収支	経常収支(10億ドル)	10.0	5.9	2.7	1.4	2.3	2.7	0.9	1.3	1.9	3.4	
	外貨準備高(10億ドル)	165.7	165.2	171.1	168.8	164.6	172.7	171.1	167.7	167.7	168.9	
雇用	失業率(季調前)	1.1	0.7	0.7	0.7	0.9	0.6	0.5	0.7	0.7		
物価	消費者物価(総合,yoy)	3.3	3.8	3.0	3.4	2.5	2.9	3.2	3.1	2.7	2.4	2.3
	消費者物価(コア,yoy)	0.9	2.4	2.1	2.7	2.0	1.8	1.8	1.5	1.2	1.2	0.9
金融	マネーサプライ(broad M,yoy)	10.9	15.1	10.4	13.1	11.2	12.7	10.4	9.5	9.5	10.4	
	株価指数(SET)	1,033	1,025	1,392	1,197	1,172	1,299	1,392	1,561	1,561	1,598	1,562
	インバンス金利(3M)	1.61	3.12	3.08	3.12	3.14	3.13	2.92	2.86	2.86	2.85	
	為替レート(円/バツ)	31.7	30.5	31.1	31.0	31.3	31.4	30.7	29.8	29.5	29.1	29.8
	為替レート(円/バツ)	2.77	2.61	2.57	2.55	2.56	2.51	2.64	3.09	3.21	3.36	3.39

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)

2. インドネシア経済の概況

- 個人消費主導の安定的な成長が続いている。1-3月期の実質GDP成長率は前年比6.0%と前期(同6.1%)とほぼ同水準であった。需要項目別にみると、個人消費が前年比5.2%増と前期(同5.4%増)に続き堅調な伸びを維持する一方で、投資は同5.9%増と前期(同7.3%増)からやや鈍化した。ただし、投資の鈍化を背景に輸入が同0.4%と減少に転じたため、輸出の堅調な伸びと相まって純輸出の成長寄与度は1.8%とプラスに転じた(前期は2.5%)。
- 5月の消費者物価上昇率は前年比5.5%と前月(同5.6%)比0.1%ポイント低下した。ニンニクなどの作物に対する輸入規制の解除を受け、食品価格が前月比0.8%と低下したことが寄与している。ただし、今後については燃料補助金の削減を受けた燃料価格の上昇が見込まれており、消費者物価上昇率は再び加速するとみられている。インドネシア中銀は5月14日、燃料価格の上昇に伴うインフレ圧力の高まりを警戒し、政策金利の据置き(5.75%)を決めたが、今後のインフレ動向次第では金融引締めの可能性もあるとみられている。



【インドネシアの主要経済指標】

		2010年	2011年	2012年	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/4Q	13/1Q	13/3月	13/4月	13/5月
GDP	実質GDP	6.2	6.5	6.2	6.3	6.4	6.2	6.1	6.0			
	民間消費支出	4.7	4.7	5.3	4.9	5.2	5.6	5.4	5.2			
	総固定資本形成	8.5	8.8	9.8	10.0	12.5	9.8	7.3	5.9			
生産	製造業生産(yoy)	4.4	4.1	4.1	1.7	2.0	1.6	11.1	8.9	10.4		
消費	小売売上(yoy)	n.a.	9.0	14.5	13.1	11.3	16.2	17.2	10.6	10.2		
輸出入	貿易収支(10億ドル)	22.2	26.1	1.7	2.8	2.3	0.5	2.7	0.2	0.1	1.6	
	輸出(yoy)	35.5	28.9	6.6	6.9	9.0	14.1	8.3	6.4	12.9	9.1	
	(除く石油ガス,yoy)	33.1	24.8	5.5	3.9	8.8	10.1	6.1	3.3	12.1	2.4	
	輸入(yoy)	40.1	30.8	8.0	17.9	13.2	2.0	4.9	0.2	8.8	3.7	
国際収支	経常収支(10億ドル)	5.1	1.7	24.1	3.1	8.0	5.3	7.6	5.3			
	外貨準備高(10億ドル)	89.8	103.4	105.3	103.1	99.4	102.6	105.3	97.5	97.5	100.2	
物価	消費者物価(yoy)	5.1	5.4	4.3	3.7	4.5	4.5	4.4	5.3	5.9	5.6	5.5
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	15.4	16.4	14.9	18.8	20.9	18.2	14.9	14.0	14.0	14.9	
	株価指数(総合)	3,704	3,822	4,317	4,122	3,956	4,263	4,317	4,941	4,941	5,034	5,069
	中銀債金利(3ヵ月)	6.50	6.00	5.75	5.75	5.75	5.75	5.75	5.75	5.75	5.75	5.75
	為替レート(ルピア/ドル)	9,078	8,773	9,419	9,088	9,412	9,544	9,630	9,695	9,719	9,722	9,802
	為替レート(円/100ルピア)	0.96	0.91	0.85	0.88	0.84	0.82	0.86	0.95	0.97	1.01	1.03

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、製造業生産は2011年より新基準。

3. マレーシア、フィリピン、シンガポールの主要経済指標

【マレーシアの主要経済指標】

		2010年	2011年	2012年	12/10	12/20	12/30	12/40	13/10	13/3月	13/4月	13/5月
GDP (yoy)	実質 GDP	7.4	5.1	5.6	5.1	5.6	5.3	6.5	4.1			
	民間消費	6.9	6.8	7.7	7.3	8.6	8.6	6.2	7.5			
	総固定資本形成	11.9	6.2	19.9	14.9	26.2	22.3	16.0	13.2			
生産	鉱工業生産 (yoy)	7.2	1.2	4.4	4.1	5.3	2.5	5.8	0.2	0.3		
消費	自動車販売台数 (yoy)	12.7	0.8	4.6	12.6	17.3	2.7	12.9	13.8	7.5	9.9	
輸出入	貿易収支 (10億ドル)	34.1	40.6	30.7	9.7	6.8	5.5	8.7	5.4	1.6		
	輸出 (yoy)	26.5	15.0	0.3	3.4	0.4	4.7	0.7	3.1	4.9		
	輸入 (yoy)	33.1	14.2	4.9	6.3	5.3	3.9	4.0	5.5	4.8		
国際収支	経常収支 (10億ドル)	27.1	33.5	18.6	5.5	2.5	3.1	7.5	2.8			
	外貨準備高 (10億ドル)	96	120	126	122	122	124	126	127	127	127	
雇用	失業率 (%)	3.3	3.1	3.0	3.0	3.0	3.0	3.1	3.2	3.3		
物価	消費者物価 (yoy)	1.7	3.2	1.7	2.3	1.7	1.4	1.3	1.5	1.6	1.7	
金融	マネーサプライ (M2, yoy)	7.2	14.7	9.7	15.4	13.8	13.2	9.7	9.7	9.7	8.9	
	株価指数 (総合)	1,519	1,531	1,689	1,596	1,599	1,637	1,689	1,672	1,672	1,718	1,769
	1ヶ月金利 (1M, %)	2.56	2.97	3.06	3.05	3.06	3.06	3.06	3.07	3.07	3.06	
	為替レート (リギ/ドル)	3.22	3.06	3.09	3.06	3.11	3.12	3.06	3.08	3.11	3.05	3.02
	為替レート (円/リギ)	27.2	26.0	25.8	25.9	25.7	25.2	26.5	29.9	30.5	32.0	33.5

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)、鉱工業生産は2005年基準。消費者物価は06年以降、2005年 = 100基準。

【フィリピンの主要経済指標】

		2010年	2011年	2012年	12/10	12/20	12/30	12/40	13/10	13/3月	13/4月	13/5月
GDP (yoy)	実質 GDP	7.6	3.6	6.8	6.5	6.3	7.3	7.1	7.8			
	民間消費支出	3.4	5.7	6.6	6.9	6.6	6.7	6.2	5.1			
	固定資本形成	19.1	2.0	10.4	2.8	8.7	10.5	19.7	16.8			
生産	鉱工業生産 (yoy)	16.9	2.1	7.0	9.4	4.3	4.3	9.9	2.8	7.9		
消費	自動車販売台数 (yoy)	27.2	15.9	10.6	10.2	19.4	8.5	25.3	27.9	10.9		
輸出入	貿易収支 (10億ドル)	3.4	12.2	9.7	2.6	1.4	2.0	3.8	2.3	0.6		
	輸出 (yoy)	34.0	6.2	7.6	4.8	10.5	6.2	9.1	6.2	0.1		
	輸入 (yoy)	27.5	10.1	2.0	1.5	2.2	0.8	6.8	7.4	8.4		
国際収支	経常収支 (10億ドル)	8.9	7.1	7.2	0.5	2.2	2.2	2.2				
	外貨準備高 (10億ドル)	62.4	75.3	83.8	76.1	76.1	82.0	83.8	83.9	83.9	83.2	
雇用	失業率 (%)	7.4	7.4	7.2	7.2	6.9	7.0	6.8	7.1			
物価	消費者物価 (yoy)	3.8	4.7	3.1	3.1	2.9	3.5	3.0	3.2	3.2	2.6	
金融	マネーサプライ (yoy)	10.6	6.3	10.6	5.6	7.1	7.5	10.6	13.3	13.3	13.2	
	株価指数 (総合)	4,201	4,372	5,813	5,108	5,246	5,346	5,813	6,847	6,847	7,071	7,022
	1ヶ月金利 (3カ月, %)	3.77	2.52	2.33	3.36	3.38	1.77	0.83	0.44	0.45		
	為替レート (P/ソドル)	45.1	43.3	42.2	43.0	42.8	41.9	41.2	40.7	40.7	41.1	41.3
	為替レート (円/Pソ)	1.94	1.84	1.89	1.84	1.87	1.88	1.97	2.27	2.33	2.37	2.44

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)、マネーサプライは2007年まで M2、2008年以降は M3。

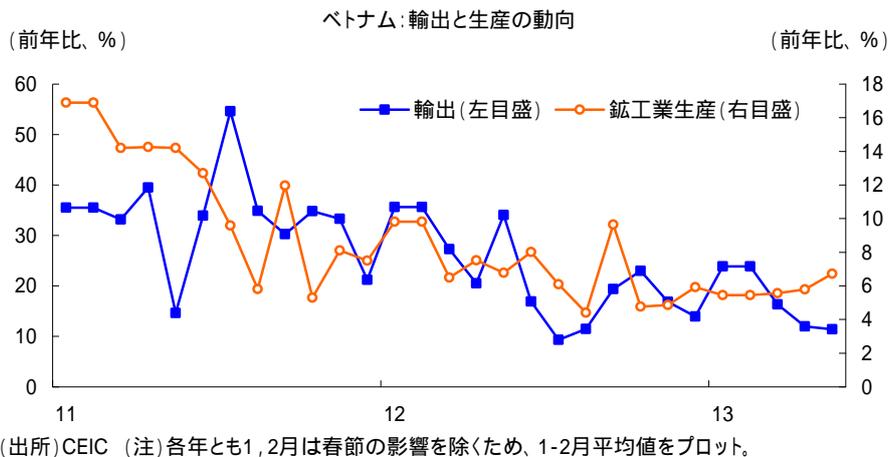
【シンガポールの主要経済指標】

		2010年	2011年	2012年	12/10	12/20	12/30	12/40	13/10	13/3月	13/4月	13/5月
GDP (yoy)	実質 GDP	14.8	5.2	1.3	1.5	2.3	0.0	1.5	0.2			
	民間消費	6.2	4.6	2.2	4.7	1.6	0.5	2.0	1.6			
	総固定資本形成	6.1	6.3	6.6	23.7	3.7	3.8	5.8	4.7			
生産	鉱工業生産 (yoy)	29.7	7.8	0.3	1.1	4.1	1.4	0.2	6.7	3.8	4.7	
消費	小売売上金額 (yoy)	0.3	9.4	3.6	13.5	1.9	1.5	1.4	4.1	7.4		
輸出入	貿易収支 (10億ドル)	40.8	43.8	28.6	7.1	6.7	8.7	6.1	7.2	3.7	3.4	
	輸出 (yoy)	30.6	16.5	0.2	5.9	0.6	5.9	0.0	6.8	6.8	2.7	
	輸入 (yoy)	26.7	17.7	3.9	11.7	2.6	3.0	4.9	7.4	12.6	3.6	
国際収支	経常収支 (10億ドル)	62.0	65.3	51.4	14.1	13.1	13.6	10.5	11.0			
	外貨準備高 (10億ドル)	226	238	259	244	243	252	259	258	258	262	
雇用	失業率 (季調値, %)	2.2	2.0	1.9	2.0	2.0	1.9	1.8	1.9			
物価	消費者物価 (yoy)	2.8	5.2	4.6	4.9	5.3	4.2	4.0	4.0	3.5	1.5	
金融	マネーサプライ (M2, %)	8.6	10.0	7.2	9.7	6.5	6.1	7.2	8.5	8.5	9.6	
	株価指数 (ストイ)	3,190	2,646	3,167	3,010	2,878	3,060	3,167	3,308	3,308	3,368	3,311
	1ヶ月金利 (3M, %)	0.56	0.41	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38
	為替レート (S/ドル)	1.36	1.26	1.25	1.26	1.26	1.25	1.22	1.24	1.25	1.24	1.25
	為替レート (円/Sドル)	64.3	63.4	63.8	62.6	63.4	63.0	66.3	74.5	76.1	78.8	80.9

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)、輸出入伸び率は米ドル建てベース。

4. ベトナム経済の概況

- ・ 経済活動に緩やかながら持ち直しの兆しがみえる。
- ・ 5月の鉱工業生産(統計総局による推計値)は堅調な輸出にけん引されて携帯電話、縫製品などを中心に生産が拡大し、前年比6.7%増と前月(同5.8%増)からさらに伸び率が高まった。
- ・ 輸出は電話・電話部品、繊維・縫製品を中心に5月も前年比11.4%増と前年比二桁台の増加ペースが続いている。一方、輸入も企業の生産拡大に伴う原材料などの輸入増加から同17.4%増と拡大が続いている。この結果、5月の貿易収支は119億ドルの赤字と一段と赤字幅が拡大した。
- ・ 他方、物価は落ち着いてきている。一昨年8月に前年比23.0%まで急騰した消費者物価上昇率は5月には同6.4%にまで低下した。
- ・ インフレ圧力が緩和する一方、内需が依然として弱含みで推移する中でベトナム国家銀行(中銀)は5月10日、昨年3月以降8回目となる主要政策金利の引下げ(1%ポイント)を決めた(実施は5月13日)。



【ベトナムの主要経済指標】

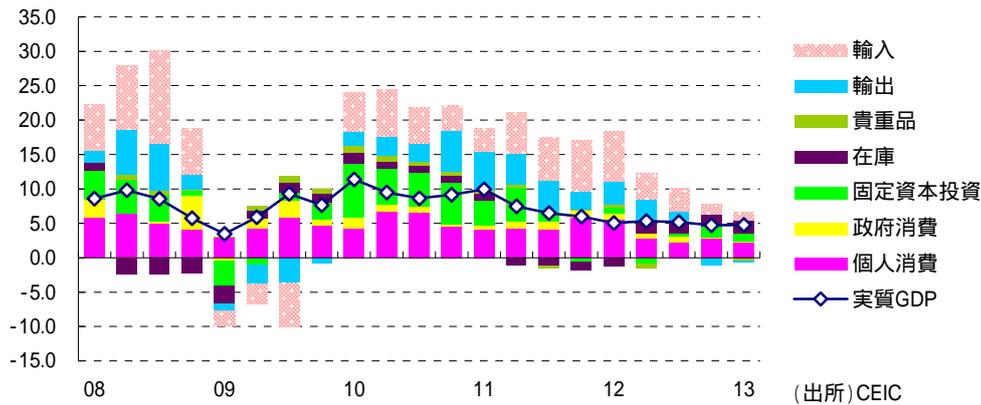
		2010年	2011年	2012年	12/10	12/20	12/30	12/40	13/10	13/3月	13/4月	13/5月
GDP (yoy)	実質GDP	6.8	6.0	5.0	4.0	4.4	4.7	5.0	4.9			
	農業	2.8	4.5	2.7	2.8	2.8	2.5	2.7	2.2			
	工業・建設	8.9	4.3	4.5	2.9	3.8	4.4	4.5	4.9			
生産	鉱工業生産(yoy)	10.7	6.7	4.8	8.7	7.4	6.7	5.2	5.5	5.6	5.8	6.7
消費ytd	小売売上(名目、yoy)	24.5	24.2	16.0	21.8	19.5	17.3	16.0	11.7	11.7	11.8	11.9
輸出入	貿易収支(10億ドル)	12.1	8.9	2.0	0.3	0.2	0.8	1.0	0.1	0.5	0.9	1.2
	輸出(yoy)	26.7	33.1	20.0	28.3	23.4	13.1	17.8	19.2	16.4	12.0	11.4
	輸入(yoy)	21.6	24.4	7.9	7.8	9.6	6.8	7.4	20.2	27.8	22.4	17.4
国際収支	経常収支(10億ドル)	4.3	0.2									
	外貨準備高(10億ドル)	12.1										
物価	消費者物価(yoy)	9.2	18.6	9.3	16.0	8.6	5.6	7.0	6.9	6.6	6.6	6.4
金融	株価指数(VN index)	484.7	351.6	413.7	351.6	441.0	422.4	392.6	413.7	491.0	474.5	518.4
	プライムレート(翌日物:期末)	8.17	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00
	為替レート(ドン/ドル)	18,655	20,547	20,828	20,811	20,828	20,828	20,828	20,828	20,828	20,828	20,828
	為替レート(円/100ドン)	0.47	0.39	0.38	0.77	0.79	0.80	0.79	0.81	0.46	0.47	0.49

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%),ytd=年初来累計ベース。生産、消費、輸出入の2013年5月は統計総局発表の推定値。

5. インド経済の概況

- ・ 低成長が続いているが一部に底入れの兆しもみえる。
- ・ 1-3月期の実質GDP成長率は前年比4.8%と前期(同4.7%)と比べほぼ横ばいにとどまった。ただし、建設やサービスに持ち直しの動きがみられるなど底入れの兆しがみえる。
- ・ 3月の鉱工業生産は前年比2.5%増と1月以降3ヶ月連続して前年比プラスとなった。前年の水準が低いという要因もあるが、利下げとインフレ率の低下、政府の経済改革政策が動き始めたことが生産の底入れにつながっているとみられる。
- ・ 4月の卸売物価上昇率は前年比4.9%と前月(同6.0%)から一段と低下した。またサービス価格を含む消費者物価の上昇率も同9.4%と一桁台に低下している。
- ・ インド準備銀行(中央銀行)は5月3日の金融政策決定会合で今年3回目となる政策金利(レポ金利)の引下げ(7.50%→7.25%)を決めた。利下げ幅は昨年4月以降合計で1.25%ポイントに拡大している。

インド:実質GDP成長率需要項目別寄与度の推移



【インドの主要経済指標】

		2010年	2011年	2012年	12/1Q	12/2Q	12/3Q	12/4Q	13/1Q	13/3月	13/4月	13/5月
GDP (yoy)	実質GDP	9.7	7.5	5.1	5.1	5.4	5.2	4.7	4.8			
	農業生産	6.6	5.2	2.1	2.0	2.9	1.7	1.8	1.4			
	実質GDP(年度)	9.3	6.2	5.0								
生産	鉱工業生産(yoy)	9.7	4.8	0.7	0.6	0.3	0.4	2.1	1.8	2.5		
	消費	新車販売台数(yoy)	30.9	5.7	10.5	16.3	9.1	4.2	11.1	11.6	13.0	8.2
輸出入	貿易収支(10億ドル)	123.9	161.6	193.8	46.0	41.2	48.3	58.3	45.8	10.3	17.8	
	輸出(yoy)	37.3	33.8	2.7	4.0	3.4	9.4	1.8	3.5	7.0	1.4	
	輸入(yoy)	36.2	32.6	5.2	24.7	6.2	1.7	7.4	2.0	2.9	11.0	
国際収支	経常収支(10億ドル)	52.2	62.8	93.8	21.8	16.7	22.8	32.5				
	外貨準備高(10億ドル)	267.8	262.9	261.7	260.1	256.7	260.0	261.7	259.7	259.7	263.3	
物価	卸売物価(yoy)	9.6	9.5	7.5	7.5	7.5	7.9	7.3	6.8	6.0	4.9	
	消費者物価(yoy)	12.0	9.6	9.7	8.6	10.2	9.9	10.1	10.7	10.4	9.4	
金融	マネーサプライ(M3,yoy)	18.7	16.0	11.2	13.2	15.8	13.6	11.2	13.3	13.3	12.4	
	株価指数(BSE Sensitive)	20,509	15,455	19,427	17,404	17,430	18,763	19,427	18,836	18,836	19,504	19,760
	TB3ヶ月	5.51	8.06	8.41	8.94	8.37	8.17	8.17	8.07	8.19	7.56	7.31
	為替レート(北-/ドル)	45.8	46.9	53.6	49.9	55.1	54.7	54.5	53.8	54.4	54.2	56.5
	為替レート(円/北-)	1.90	1.69	1.49	1.59	1.44	1.43	1.52	1.72	1.73	1.80	1.78

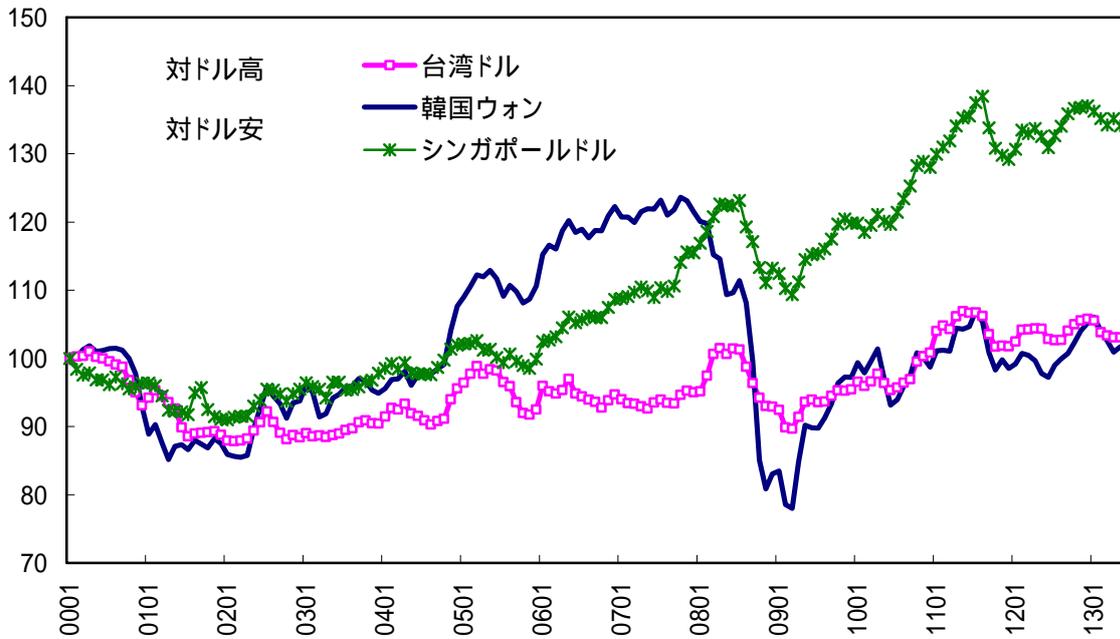
(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、年度は4月から翌年3月。新車販売は乗用車に限る。消費者物価は2011年から新系列。

・アジア通貨・株価動向

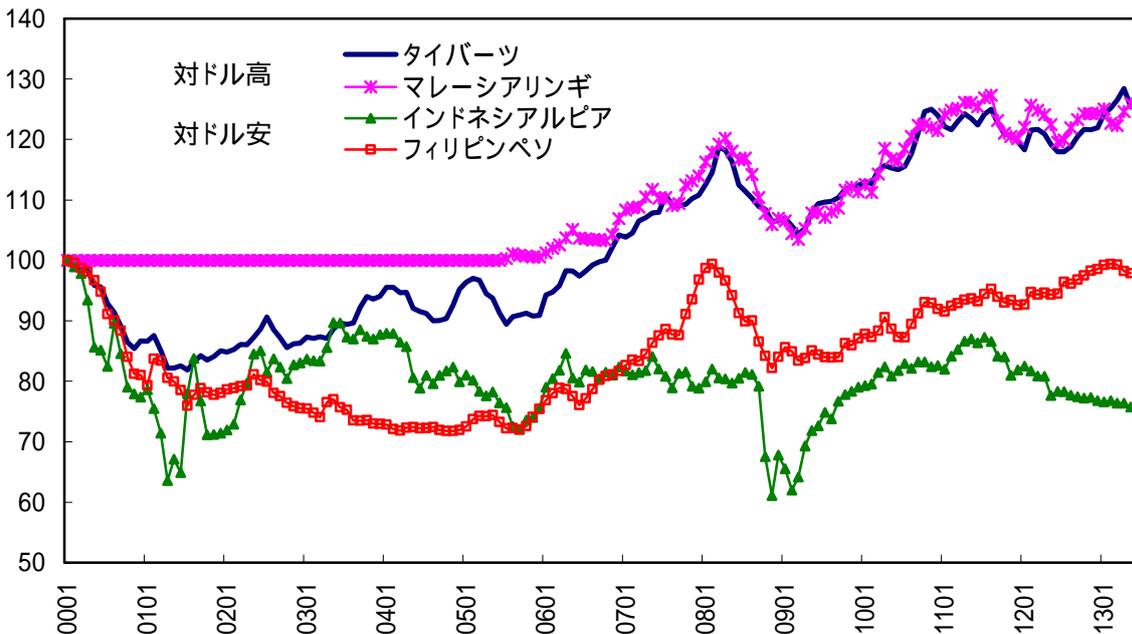
アジア通貨の対ドル相場の推移

< 2000年1月 = 100 >

(2000年1月 = 100)

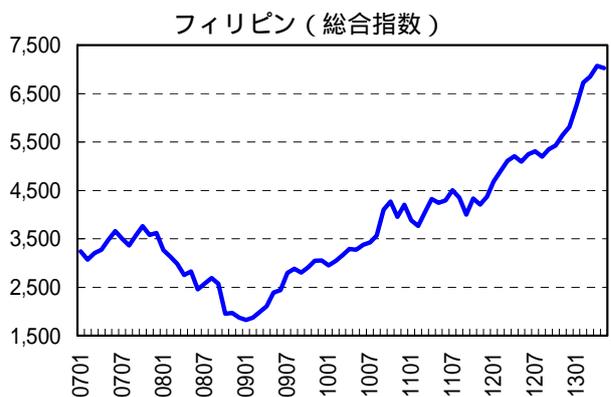
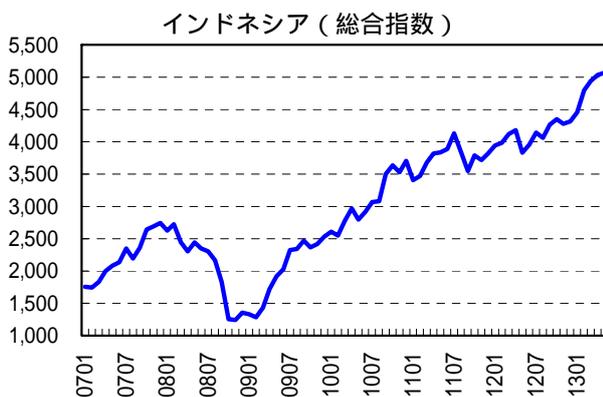
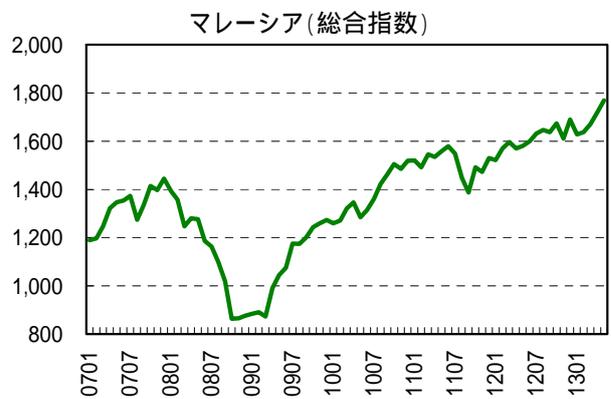
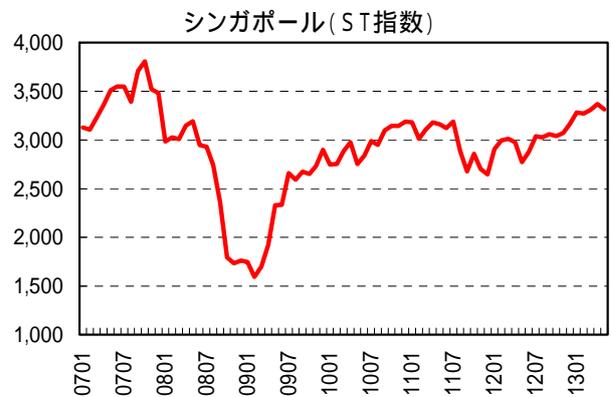
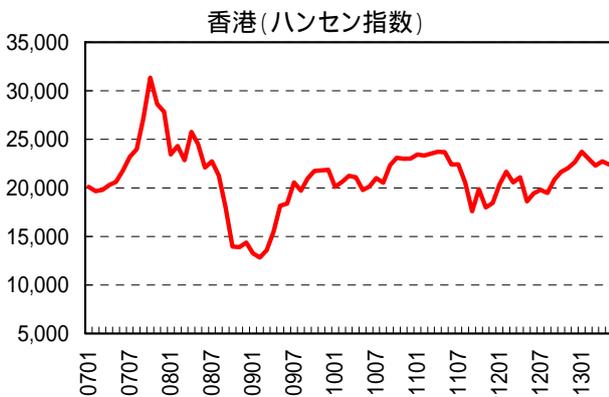


(2000年1月 = 100)



(出所) CEIC

アジア諸国の株価動向（月末値）



(出所) CEIC

- ご利用に際して -

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡下さい。